

100人参加して新年会 寺島志織さんのチェロ鑑賞 「真田丸」応援をと高梨会長

関東同窓会は1月21日、千代田区一ツ橋の教育会館で新年会を開き、44-5期から105期の100人が参加しました。イベントは同窓生でフリーのチェロ奏者寺島志織さん（105期）が、大学の先輩の新明知美さんのピアノ伴奏でメンデルスゾーンの「春の歌」などクラシックのほか、長野県出身の作曲家による「夕焼けこやけ」（草川信）、「しゃぼん玉」（中山晋平）、「おくりびと」（久石譲）などを、トークを交えて演奏。参加者は約40分にわたり優雅で時に華やかなチェロの音色に聴き入りました。途中で寺島さんが昨年12月に結婚、新明さんも3月に結婚予定であることが紹介され、会場は祝福の拍手に包まれました。最後は寺島さんが動画サイトのYouTubeを繰り返し聴いて楽譜を起こしたというチェロの伴奏で、校歌を全員で歌った。

続いて開いた懇親会では、高梨奉男会長が、「真田丸」の放映に当たって、本部の日置理事長はじめ校友から「番組のどこかで母校の校門や校歌を紹介してもらえないだろうか」という要望があり、総会当日、真田丸のチーフ・プロデューサー屋敷陽太郎氏に講演前の控室でお願いしていたところ、第1回の最後に両方とも放映されたと経緯を紹介。「まさか第1回の放送でやってもらえるとは思っていなかったのでびっくりした」と語り「1年間真田丸を応援していきましょう」と呼び掛けた。

清水巻郎さん（46期）の乾杯で懇談が始まり、6月25日の総会で実行委員長を務める古畑克巳さん（69期）が「いろいろなイベントを考えているのでぜひ参加して」と決意表明。総会で、講演予定の映画プロデューサー永井正夫さん（62期）やアトラクションでトロンボーン演奏予定の奥村晃さん（89期）のほか、飯田茂幸さん（104期）、宮山滝雄さん（105期）ら若手の参加者も「初めて参加したが次は友人を誘って参加したい」などとあいさつした。

藤村延魚さん（54期）が六文銭の付いた鉢巻きと法被姿で、振りを付けて応援歌と凱歌などをリード、会場に歌声が響き大いに盛り上がった。会場には真田丸のポスターも貼られ、「真田丸の年」を思わせる新年会となった。最後は昨年に続き参加者の最年長の手塚敬一さん（44-5期）の三本締めでお開きとなった。



演奏する寺島さん（右）



「真田丸」ポスターを背に



チェロの伴奏で校歌斉唱



真田丸応援をと高梨会長



次期総会実行委員長の古畑克巳さん



六文銭の法被で応援歌をリードする藤村延魚氏